

# モナちゃん もなかへ

いま、盛岡のまんなかで考える。  
この場所の未来のこと。

もなかプロジェクトコンセプトブック



monaka project concept book

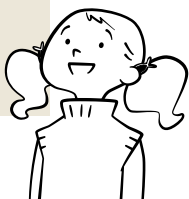
モナちゃんは、好奇心いっぱいの小学3年生。  
肴町のマンションで暮らしています。  
近くには歩いていける公園や川、  
たのしい商店街もあって  
そのまんなかにある「monaka」は、  
お気に入りの場所です。



POINT

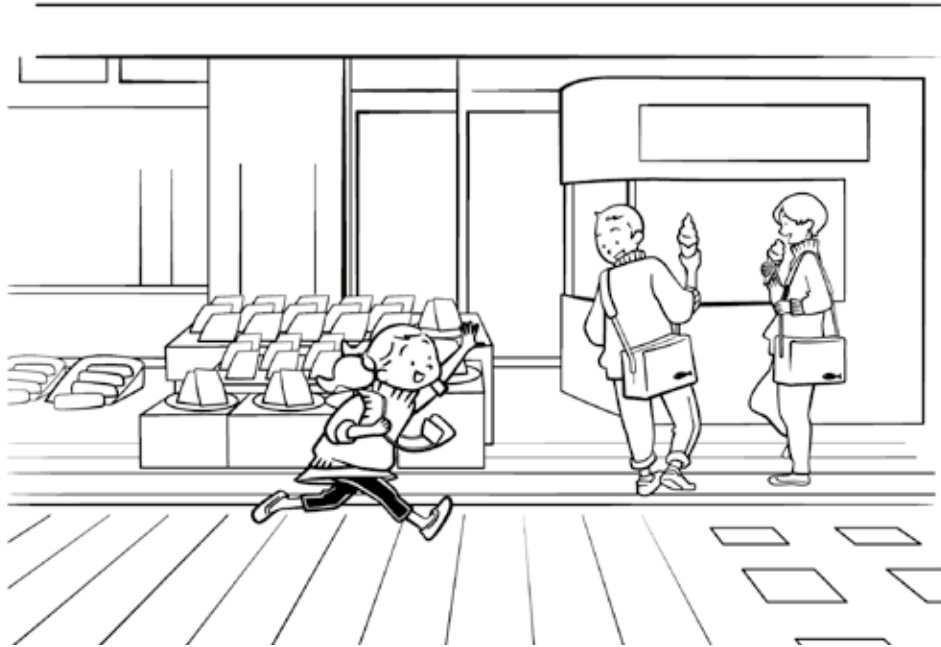
「monaka」が建つ河南地区って？

盛岡は400年の歴史を持つ城下町。河南地区も、古くから盛岡市の商業・文化の中心地として発展してきました。「monaka」と隣接する肴町商店街アーケードには、80近いお店がずらり。七夕まつり、ハロウィン、クリスマスなど一年を通して楽しめるイベントがいっぱい。「monaka」も一緒にまちを盛り上げていきます。

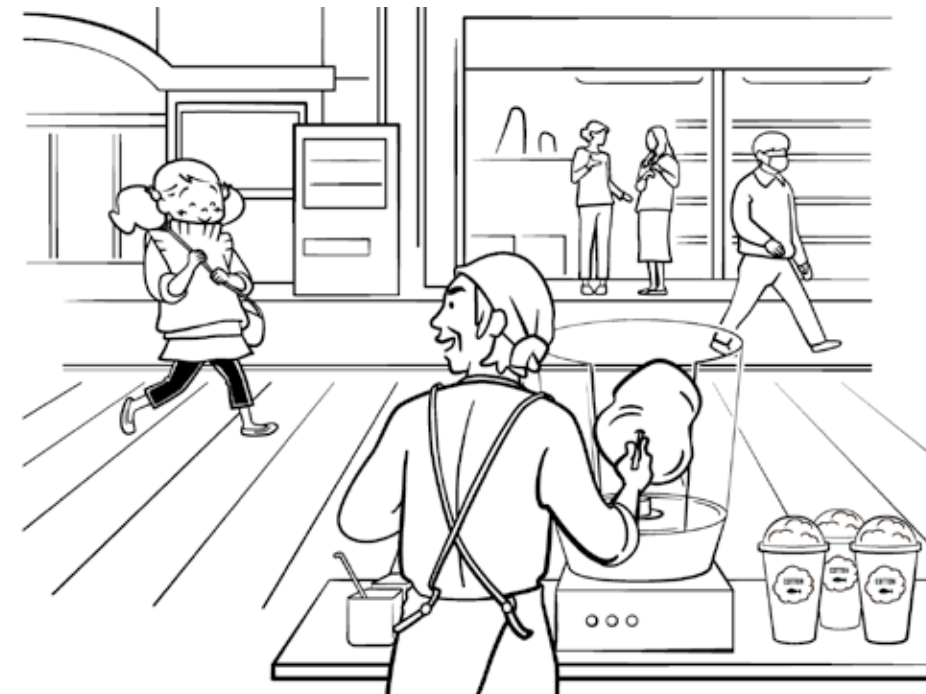


とある土曜日の午後。  
モナちゃんは肴町アーケードへ。  
だれかと待ち合わせのようです。

街を歩けば、同級生のお母さんや  
近所の人とすれ違います。



歩いていたら、ソフトクリームを食べながら  
友だちとおしゃべりするお兄ちゃんを、みつけた。  
「おかえり、お兄ちゃん」  
「おや、モナはどこに行くの？」  
答える前に、モナちゃんは走って  
行ってしまいました。



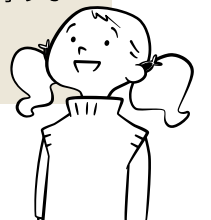
「おや、モナちゃん。今日は一人？」  
イベントの準備をしていた  
商店街のおじさんが声をかけます。

「えへへ……」  
笑顔のモナちゃん、そのさきには……。

POINT

まちの安心と安全って、誰が作っていくの？

イベントを通じたお店やお客さんとのお付き合い、普段の声掛けて実は大事。エリア全体の安全管理や防犯対策にもつながります。「monaka」プロジェクトでは、自然災害への備えにも力を入れて、子どもからお年寄りまで、安心して過ごせるまちを目指しています。



あ！待ち合わせをしていたおかあさんがいました。

なにやら旅人に、道案内をしているようです。

「赤レンガ館なら、アーケード街を出た  
交差点の向かいにありますよ。  
ゆっくり楽しんでくださいね」



POINT

「おもてなし」ってうれしいね！

「monaka」のそばにある岩手公園は、みんなのおさんぽコース。岩手銀行赤レンガ館には修学旅行生がたくさんやってきます。そして、秋まつりや初詣に出かける盛岡八幡宮。このエリアの住人にとっての通勤・通学路は、実は歴史ある観光スポットなのです。旅行者は地域の人々でもてなして、盛岡のいいところを教えてあげたいですね。



「おかあさん、おかえりなさい」

「おかえり、モナ。

さて、夕飯は何にしよう？」

歩き出す二人の行き先は、

そう「monaka」です。



一階のスーパーを歩くと、

「秋一番のキノコが入ったよ」と、やおやさん。

「新鮮なサンマがおすすめだよ」と、さかなやさん。

おいしいものがいっぱい迷ったときは、

近所のおばさんに、今日のメニューを相談したり。

「monaka」はみんなが集う、社交場なのです。



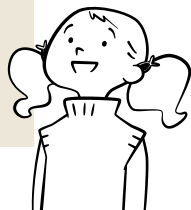
マンションから見えるバスセンターに、  
やわらかな灯りがともる頃、家族みんなで夕ご飯です。  
「明日はイベントがあるんだって。みんなで行こうよ」  
「わーい！お友だちにも教えてあげよう！」  
モナちゃんはうれしくなりました。



POINT

monaka の役目ってなんだろう？

一足早く完成する盛岡バスセンターは、盛岡だけではなく、岩手と全国や海外を結ぶ、まちの玄関口。バスセンターと monaka が力を合わせて、岩手全域から美味しいものを集めたり、各地のイベントを紹介したり、岩手の魅力をどんどん発信していきたいですね。



盛岡のまんなかにある「monaka」は、  
楽しい時間がはじまる場所。  
わくわくお話できる場所。  
ぼーっとお休みできる場所。

「monaka」とお家をつなぐ道にも、  
いろいろなお店と笑顔があって  
なんだか、温かな家族に守られているみたいです。



to be continued...



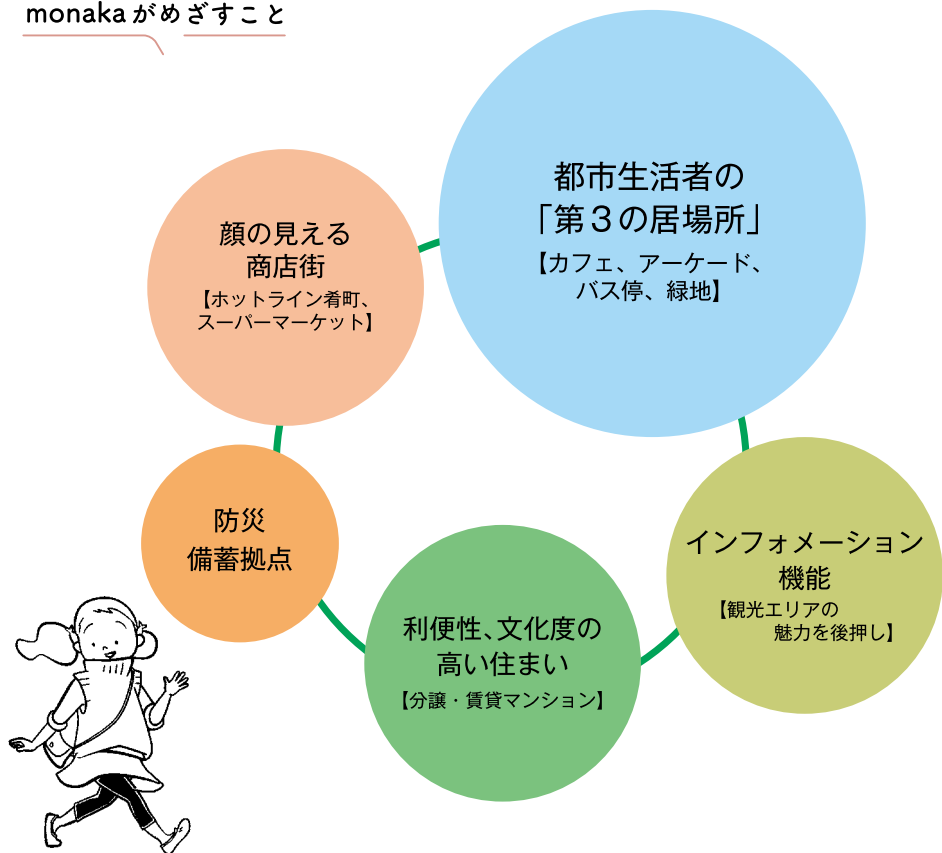
## 「盛岡らしさ」のまんなかに。

monaka はそんな意味を込めたプロジェクト名です。  
 もりおか、なかのはし、さかなちょう、かなんの地名からも  
 ヒントをいただきました。

肴町を含む河南エリアは、藩政の頃から商業・文化の中心地として栄えてきました。  
 中の橋は盛岡藩に出入りする役人や商人、職人などが行き交い、  
 肴町はたくさんの近江商人が店を構えた繁華街。  
 明治期になると、河南エリアにはモダンな建物の銀行が建設され、  
 経済の中心地として時代の変化を見守ってきました。

しかし今、大切なのは歴史を未来にどうつなげていくか。

地域の皆さんや事業者さんのみならず、  
 盛岡市、さらには岩手県のみなさんに、  
 monaka のこれからを知っていただき、みんなで一緒に考えたい。  
 そして誰もが住んでみたい、訪れたい場をつくりたい。  
 それが、開発に携わる事業者全員の想いです。



### 地元目線の「盛岡らしさ」を訪れるすべての人に

令和2年4月、地権者8名による「中ノ橋通一丁目地区市街地再開発準備組合」が設立されました。事業計画を作成し、行政と協力しながら市街地再開発事業の実現に向けた活動を進めています。地元だからこそその生活者目線を生かし、「盛岡らしさ」あふれる商業拠点をつくりまします。

### インフォメーション機能の充実と豊かな時間の創出

さまざまな世代の人が集う monaka。暮らしに欠かせない生活用品の数々を揃え、「便利+心が豊かになる時間」を提供していきます。また、県内外から集う人々に素晴らしい岩手の食、特産品、工芸、芸術文化を発信し、イベント広場や情報を届けるインフォメーションコーナーの充実にも努めます。

### 事業者だけではなくエリア全体の価値向上を

再開発事業は、大きな最新設計のビルを計画することではなく、関わる事業者が長く継続できる形をつくり、都市機能を充実させることが目的です。monaka周辺は、盛岡市中心部の商業地として重要な一角。ローカルハブとなる盛岡バスセンターと連携し、盛岡中心市街地を盛り上げる新たな起点となります。そしてやがては県都・盛岡から沿岸をはじめとする各地域へ——賑わいを広げていきます。

### ユニークな発想で、盛岡らしさに満ちた都市空間

日常生活に必要な生鮮食品を扱うマーケットはもちろん、自分らしい生活を楽しみたい女性層が、仕事帰りも休日にも訪れたい都市空間をめざします。一方で、自然災害などから市民生活を守る防災拠点として、物資備蓄や情報発信にも取り組みます。

### ウォーカブルな街並みづくり

国道106号線と肴町商店街とに面する西エリアは、店舗と業務サービス施設、駐車場を整備。1階のまちに面した店舗沿いは、誰もが自由に歩いて行き来可能、東エリアにはタワーマンションを整備し、魅力あるまちなか暮らしを提案していきます。敷地内にはファザード付きの広場をつくり、建物をつなげることで、一体的にデザインされたスクエアを創出します。

### 河南ならではの「暮らしモデル」を創造します

再開発のミッションは、モノ、コト、ヒトの持つ潜在力を引き出し、一つのヴィジョンを紡ぎあげること。生活者、旅行者、ビジネスマン、子どもから高齢者まで、誰もが自由に居られる地区になることで、若い世代が高齢者を自然に支える「河南ならではの暮らしモデル」が生まれることを願います。



そこには  
高齢者も、子どもも  
常連たちも、旅行者も  
誰もが分け隔てなく自由に  
「いる」ことができる。

そこでは老舗と新しい店が共存し、  
私たちはシーンによって、それらを  
選択できる「豊かさ」を得る。

近すぎず、離れすぎない、  
都市生活者の心地よい居場所。  
盛岡人の根っこを感じるまちへ——

いま、monaka プロジェクトが動きだします。

お問い合わせ／  
中ノ橋通一丁目地区市街地再開発準備組合事務局  
(株)カガヤ不動産  
〒020-0878 盛岡市肴町 4- 5 カガヤ肴町ビル 4階  
TEL.019-613-7751 takahashiy@kk-kagaya.co.jp

※記載事項につきましては現段階の計画であり、予告なく変更することがあります